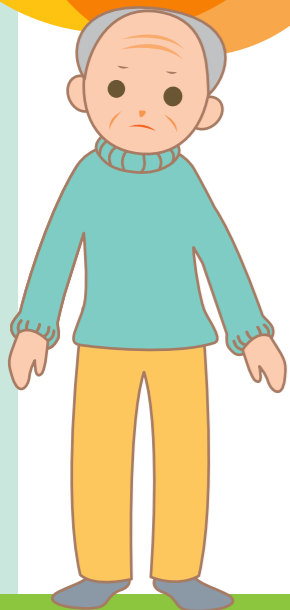


# ひとりじゃないって！ 見守りと支援が支える在宅生活

## SITUATION.

### 現在の生活状況 について



加藤 秀一さん（仮名）  
79 歳

#### 身体状況

要介護度 2  
胃ガン、陳旧性脳梗塞の既往歴  
心疾患、両下肢のむくみ顕著

#### 家族状況

一人暮らし  
長男夫婦が隣に居住しているが、  
関わりは拒否

#### 福祉サービス利用状況

デイサービス：週 2 回  
訪問介護：週 2 回 2 時間

#### 住まい・福祉用具の状況

木造平屋の一戸建て  
玄関の上がり框や、トイレ、  
浴室等に段差あり  
自作の手すり（木材）が玄関、  
寝台に設置

加藤秀一さんは、生まれ育った町で商売を起こし妻と 4 人の子どもを養ってきました。妻は 10 年以上前に病で亡くなり、3 人の子どもは町外に出てしまいましたが、長男が町に残り、家業を継いでくれています。長男夫婦も隣に居住し、商売も順調でしたが、財産にかかわる些細なトラブルから関係が悪化し、現在は特別なことがない限り長男夫婦は関わりを持たない状態となっています。

一軒家に一人で住んでいる秀一さんは、身の回りの事を一人で行っていますが、以前、胃ガンの手術と陳旧性脳梗塞（発症から長時間経過した梗塞）の既往歴があり、現在は心疾患と両足のむくみが顕著にみられ、靴も一人では履けません。また右足に力が入りにくくふらつくこともあります。「掴まるためにつけた」と玄関や寝台の周りなど至る所に自作の手すり（天井から床までの木材）があり、その他に寝台やテレビ台、ローボードなども自分で作った家具があります。

秀一さんは介護保険制度の要介護認定では要介護度 2 の認定を受け、現在週 2 回のデイサービスと週 2 回 2 時間の訪問介護を利用しています。

日常生活においては、家事全般において困難な部分が多々見られ、長時間立ってられないので調理が難しく片寄った食事になり、通信販売の健康食品に頼っています。室内も足の踏み場もないほど物が散乱し、生ゴミが腐敗したままの状態です。ホームヘルパーが訪問した時は声かけをし、片付けを促しますが効果がありません。

排泄はトイレを使用していますが、時々失敗しているため、おむつと尿取りパットを使用しています。何度説明してもおむつやパットを干して再利用しているので、部屋の中は尿の臭いが強くあります。入浴は自宅入り、その際に着替えをしているようですが洗濯されたものが清潔なものはわかりません。

デイサービスでも週 2 回入浴をしていますが、通所する前に便が出ないと、デイサービスに行ってもほとんどトイレで過ごし、午前中入浴や昼食時間もこもったままで他の方と一緒に昼食を取れず、午後のゲームにも参加できないこともあります。

秀一さん本人は、自分は体は不自由だが頭だけはしっかりしていると言っていますが、被害的な訴えやもの忘れがあり、通信販売や訪問販売で高額な物を購入してしまい、支払い出来なくなったため自己破産をしています。現在は年金のみの生活で、はっきりとした収支状況は本人も分からないようです。

地区担当の民生委員も状況を心配し、週 1 回見守り訪問をしています。生活環境も悪化しており、通院も服薬管理もできていない状態から体調悪化が心配されます。



## ADVICE. 専門家からの 助言

### 安心して生活していくための 様々な方法や工夫を考えてみましょう。

#### 1 まずは、健康状態を確認・把握しましょう。

秀一さんは医者の方の言うことを信用せず、服薬も出来ていないようです。心疾患もあり排便の状態も心配がありますので、決して良い状態とは言えません。早急に総合病院で受診をして健康状態を再確認しましょう。極めて緊急性が高いことをご家族にも真剣に伝え、付き添ってもらえることが良いでしょう。

ご家族はご本人の現状について不認識、または無関心である場合が多いので早い段階からご協力をお願いしましょう。

#### 2 生活しやすい環境を整えましょう。

手作りの寝台は、今の秀一さんが立ち上がるのには高く、踏み台も利用しているため、危険が伴います。まずは新しくベッドを入れることを考えましょう。その際は、関わりのある方々に声をかけて、ご本人のための一大イベントのように実施し、合わせて部屋の片付けも行い、家具の配置も考えて、動線と安全の確保を図ることを早急に行いましょう。

#### 3 本人の状態にあった住宅改修の見直しを検討しましょう。

よくよく話を聞くと、自宅のトイレでは以前設置した手すりが高すぎ、座った状態でちょうど良い位置に手すりがなく、その点、デイサービスのトイレは排便をするのに居心地が良いということもトイレにこもる一因であることがわかりました。

デイサービスの時間を取り戻すことによって、人とも接する事が出来、社会性を取り戻す“場”になることから、自宅でも排便しやすい環境を作るため、手すりの位置の付け替えを考えましょう。

#### 4 日常生活管理能力の低下を踏まえ、 金銭管理等の支援・見守りを考えましょう。

通信・訪問販売で高額な買い物をしているようですが、誰も正確な金銭管理が出来ていない状態です。このまま適切な介入がされないまま、大きな負債を抱えてしまう事もあります。

また、現在の生活環境を整えるために福祉サービスを増やす事を考えても、サービスを増やすことが負債を増やすことになりかねないため、現在の収支を把握することが必要です。

ご家族への協力をお願いし、合わせて福祉サービス利用援助事業として日常生活自立支援事業（旧地域福祉権利擁護事業）の利用についても検討しましょう。